

# 希望への標、平和への標



## コンセプト

計画地である大度浜海岸は、ジョン万次郎がアメリカから帰国する際に上陸したことから別名「ジョン万ビーチ」とも呼ばれ親しまれている歴史のある場所です。現在でもジョン万次郎上陸の地として観光客も訪れています。またこの地は沖縄戦跡国立公園の一つであり、悲惨な戦争の歴史を引き継ぐ場所でもあります。

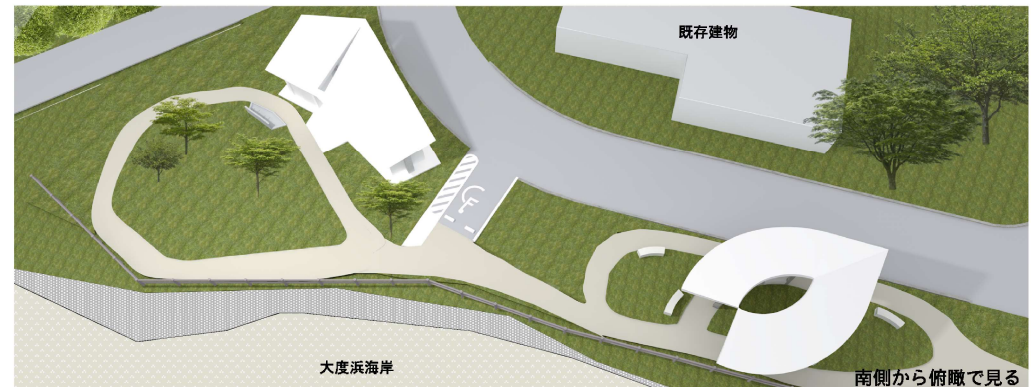
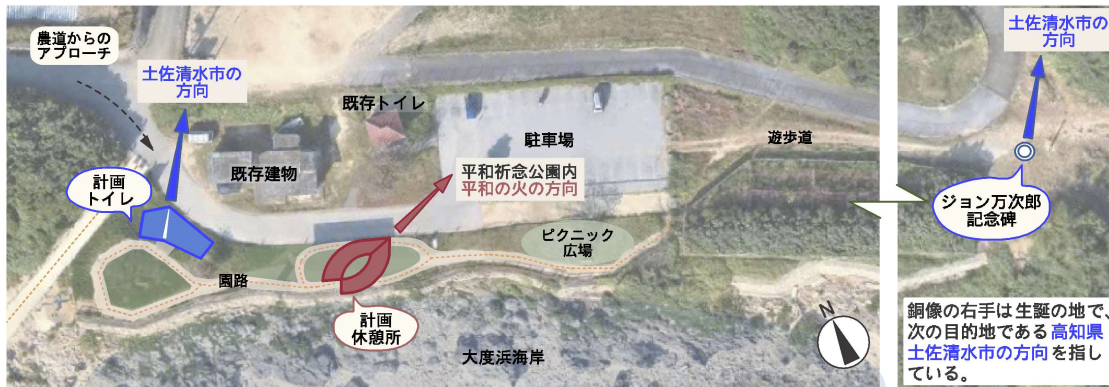
この場所にはジョン万次郎が日米のかけ橋となり鎖国中の日本にもたらした未来への希望と、戦争の記憶を風化させないよう平和の尊さに思いを馳せる建築が必要だと感じました。

「希望」と「平和」への標となるトイレと休憩所を提案します。

## 配置計画と指し示す屋根について

**トイレ**は、農道からのアプローチ側に計画します。屋根はジョン万次郎の次の目的地である高知県土佐清水市の方向を指し示しています。指し示す屋根が訪れた人々を出迎えてくれます。屋根に同じ方向を指し示すスリットを設けることで、トイレの中央に光が差し込み、屋根の下においても指し示す方向を感じることができます。

**休憩所**は、既存の休憩所の位置に計画します。2つの弧が寄り添うように屋根をかけ、その先端が沖縄平和祈念公園内の「平和の火」の方向を指し示しています。休憩所の下を通り抜けられるように回遊性のある園路を整備します。休憩所の中央にはスリットを設け、屋根の下においても指し示す方向を感じることができます。







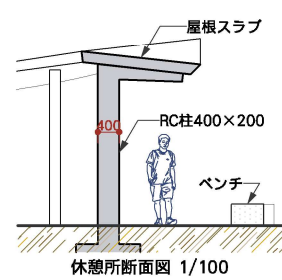
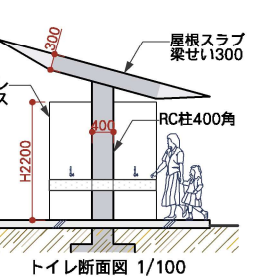
土佐の方向を指し示した屋根が、大度浜海岸を訪れた人々を出迎えます。トイレブースの壁を低く抑え、ブースを分散配置することで死角を無くし風や視線が通り抜ける、明るく利用しやすいトイレを目指しました。



2つの屋根が寄り添うように訪れた人々を包み込みます。シンプルで開放的な空間とし、人や風、視線が巡る休憩所を目指しました。



■構造計画  
トイレブースの壁はH2200の独立壁とし、高さを低く抑えました。屋根は400角の柱を中心に両方向に伸びた片持ち梁と屋根スラブで支持するシンプルな構造計画とします。  
休憩所は、柱を中央部に配置し外側に向かって伸びる片持ち梁で屋根を支持することで、外周部に柱を設けないオープンな空間となる構造計画とします。



■建築概要  
階数 : 平屋建て  
構造 : RC造  
<トイレ>  
床面積 : 17.73㎡  
建築面積 : 49.63㎡  
最高高さ : 3.80m  
<休憩所>  
床面積 : 25.06㎡  
建築面積 : 45.53㎡  
最高高さ : 3.50m

■仕上げ  
<トイレ>  
柱 : RC打放し+クリア塗装  
壁 : RC打放し補修+落書き防止塗料  
屋根 : RC打放し補修+ウレタン塗装  
床 : コンクリート土間+防滑塗装仕上げ  
<休憩所>  
柱 : RC打放し+クリア塗装  
屋根 : RC打放し補修+ウレタン塗装